

講師用カリキュラム詳細

中村奈緒子さま（atelier sugar）専用 | 全8回 | 受講料全額入金済み（2026/9/14）

講師用・本人非公開（ツール名・手の内入り）

この講座の軸（毎回ここに立ち返る）

- ・売上の本体は5社のSNS運用代行（IG運用＋HP制作の一体提供）。代行を型化して1社あたりの時間を減らす → 6社目以降の余白 → 講座ビジネス回帰、の順で効かせる
- ・毎回「完成品を1つ持ち帰る」。講義はしない、一緒に作る。3時間の最後は必ず本人がひとりで再現できる状態で終わる
- ・作ったものは毎回 Skill化（型に固定）して資産にする。8回で8個の完成品＋Skill棚が卒業証書
- ・範囲外の要求（代行して・全部見せて）が出たら受講規約 第3～6条に立ち返って線を引く。制作は「指導の一環」、納品ではない

毎回の3時間の型

0:00-0:15

チェックイン。1週間の運用報告・詰まり解消。「使ってみてどうだった？」から入る

0:15-2:20

メインワーク。今日の完成品と一緒に作る。操作は本人にやらせる（画面は本人のPC）

2:20-2:45

定着タイム。今日やったことを本人がひとりで再現＋Skill化

2:45-3:00

宿題の確認・次回予告。「次回までにこれだけ」を1～2個に絞る

講師側の禁じ手（自分メモ）

- ・代わりに作ってあげない。手が止まったら「CCにこう聞いてみて」とプロンプトを口で渡す（対話力を育てる）
- ・1回に詰め込まない。終わらなかったら宿題ではなく次回の頭15分で回収
- ・質問対応は合理的な範囲で（規約第3条3項）。即レス癖をつけない。週1シェアの枠に誘導する
- ・自分のLavique実物（システム・プロンプト全文）は見せる範囲を自分で選ぶ（規約第4条）。見せるのは「型」、渡すのは「作り方」

全8回マップ（詳細は次ページから）

- ①9月 あなた専用のAI環境をつくる + 配れるミニアプリ
- ②10月前半 ホームページ制作①（実案件1社・IG連動）
- ③10月後半 ホームページ制作②「型」にする（公開・ドメイン・テンプレ化）
- ④11月前半 Instagram分析 × 投稿一括生成 + 予約投稿フロー
- ⑤11月後半 自動投稿 × 月次レポートの仕組み化
- ⑥12月前半 公式LINE配信基盤 + 診断コンテンツでリスト取り
- ⑦12月後半 API連携・アプリ開発（提供できるツール）
- ⑧1月 卒業制作：売上を立てる流れを完成させる

① 9月（初回） あなた専用のAI環境をつくる + 配れるミニアプリ

ゴール CCが動く／「私が書いたみたい」な投稿が出る／配れるミニアプリ1本がURLになる

タイムライン

0:00-0:15	アイスブレイク。工程表でゴール再確認。「今日は帰るまでに3つ完成します」宣言
0:15-1:00	Claude有料プラン契約（Proから）→ Claude Code（Desktop版）インストール → 起動確認
1:00-1:35	事業インタビューしながら CLAUDE.md 作成（事業・発信トーン・5社のクライアント情報をAIに記憶させる）
1:35-2:00	本人トーンでIG投稿を生成 → 「私が書いたみたい」体験。微調整の指示出しを練習
2:00-2:20	ミニアプリ制作（例：生徒さん向け診断・チェックリスト等の1枚HTML）→ Cloudflare PagesでURL化
2:20-2:45	定着：本人がひとりで投稿1本＋アプリの文言修正を再現
2:45-3:00	宿題確認・次回予告（HP制作①）

使う道具（講師メモ）

- ・ Claude Pro（本人カードで契約）
- ・ Claude Code Desktop（Win/Mac確認）
- ・ Cloudflareはあいさんが画面共有でデプロイ→本人アカウントは③で作る

あいさんの事前準備

- ・ 1人目講座の初回教材を流用
- ・ ミニアプリのお手本1本（papillon系の型）
- ・ インストールリンク集を1枚にして共有

宿題

- ・ 毎日1回CCに話しかける（何でもOK）
- ・ 投稿を3本作って1本は実際に投稿
- ・ HP対象クライアント1社の素材回収（ロゴ・写真・文章）

② 10月 前半 ホームページ制作①（実案件1社・IG連動）

ゴール クライアント1社のHP叩き台が完成し、スマホで見られる状態（限定URL）になる

タイムライン

0:00-0:15	チェックイン（宿題の投稿を見てフィードバック）
0:15-0:45	HPの構成設計：参考サイトを見ながらセクションを紙に書き出す（ヒーロー／実績／IG／問い合わせ）
0:45-1:45	CCに構成と素材を渡してHTML生成 → 出てきたものへ修正指示を繰り返す練習（「直させる対話力」がこの回の本体）
1:45-2:20	Instagram埋め込み＋スマホ表示の確認・調整
2:20-2:45	定着：本人がひとりで1セクション追加してみる
2:45-3:00	宿題確認（クライアントに見せて感想回収）

講師メモ

- ・ デザインの完成度は7割でOK。「その場で直せる」体験を優先
- ・ 色・フォントはクライアントのIGの世界観から抽出させると早い
- ・ 公開はまだしない（③でドメインごとやる）。プレビューURLで見せる

本人の事前準備

- ・ 1社分の素材（ロゴ・写真・紹介文）
- ・ 参考にしたいサイトURL 2～3本

宿題

- ・ クライアントにプレビューを見せて感想・修正点を回収
- ・ 直せそうな箇所は自分でCCに指示して直してみる

③ 10月 後半 ホームページ制作②「型」にする（公開・ドメイン・テンプレ化）

ゴール HPが本公開される／「2社目からは30分で作れる」型が手に入る

タイムライン

0:00-0:15	チェックイン（クライアントの感想を反映する箇所を決める）
0:15-1:00	修正反映 → 本人のCloudflareアカウント作成 → Pagesへデプロイ（本公開）
1:00-1:30	独自ドメイン接続（クライアント名義で取得→接続。名義の考え方も教える）
1:30-2:20	テンプレ化：今回のHPを雛形にして「2社目」を高速で立ち上げるデモ → そのままSkill化（HP制作の型）
2:20-2:45	定着：本人がテンプレから新規1ページを自力で出す
2:45-3:00	宿題確認・次回予告（ここから運用代行の時短フェーズ）

講師メモ

- ・ Cloudflare・ドメインは**本人 or クライアント名義**で。あいさん名義にしない（管理が乗っかるから）
- ・ 「サーバー代0円・ドメイン年1,500円」の原価話は刺さるので必ずする
- ・ ここまでで受講料の元が取れてる感を言語化してあげる（外注1本分）

宿題

- ・ 2社目のHPを型から自分で1本作る（次回冒頭でレビュー）

④ 11月 前半 Instagram分析 × 投稿一括生成 + 予約投稿フロー

ゴール 5社分の「週1回セットして終わり」投稿フローが動き出す

タイムライン

0:00-0:15	チェックイン（2社目HPのレビュー）
0:15-1:00	IG分析：自社＋クライアント1社の過去投稿から「伸びる型」を抽出（エンゲージメント上位の共通構造）
1:00-1:45	クライアント別トーンをCLAUDE.mdに登録 → 1社分の投稿を7本一括生成 → 微調整の練習
1:45-2:20	Meta Business Suite（無料公式）で予約投稿にセット → 「月曜に1週間分」の運用フローを確定
2:20-2:45	定着：別のクライアント1社分を本人がひとりで生成→予約
2:45-3:00	宿題確認

講師メモ

- ・ 分析はApify等の本格スクレイピングまでやらず、まず手持ちデータ＋目視でOK（深追いしない）
- ・ 「IGの完全自動投稿は発展編（⑦）、実務は予約投稿で十分」と期待値を先に揃える
- ・ 時短効果を数字にする：投稿1本〇分→〇分、週〇時間の削減

宿題

- ・ 5社分をこのフローで1週間運用してみる
- ・ 削減できた時間をメモしてくる（⑧で使う）

⑤ 11月 後半 自動投稿 × 月次レポートの仕組み化

ゴール 寝ている間に投稿される仕組み＋月次レポートが自動で出る型が動く

タイムライン

- 0:00-0:15 チェックイン（5社運用の1週間レビュー・詰まり回収）
- 0:15-1:15 自動投稿：Threadsのストック棚方式（下書きを貯める→毎晩自動投稿）を本人アカウントで構築
- 1:15-2:00 月次レポート：投稿実績・数字を入れると体裁の整ったレポートPDFが出る雛形をCCで作る
- 2:00-2:20 「毎月のルーティン表」を確定（何日に何をする、どこまで自動か）
- 2:20-2:45 定着：レポート雛形に別クライアントのデータで1本出す
- 2:45-3:00 宿題確認

講師メモ

- ・あいさんのThreads自動投稿（ストック棚＋毎晩21時）の型をそのまま移植
- ・レポートは「クライアント満足度＝解約防止」の文脈で価値づける
- ・数字を毎日見る話（野田メソッド06）をここで仕込む

宿題

- ・月次レポートを実クライアント1社に実際に送ってみる
- ・反応をメモ（⑧の営業材料になる）

⑥ 12月 前半 公式LINE配信基盤 ＋ 診断コンテンツでリスト取り

ゴール 月額ツールなしの配信基盤が自分のものになり、リストが自動で貯まる導線が動く

タイムライン

- 0:00-0:15 チェックイン
- 0:15-1:15 LINE公式アカウント整備 → LINE Harness導入（配信・ステップ・tracked link）。L-step相当が月額0円の衝撃をここで
- 1:15-1:45 リッチメニュー・あいさつメッセージ・キーワード自動応答を設定
- 1:45-2:20 診断コンテンツ（例：あなたのお教室タイプ診断）を①のミニアプリの型で作ри、結果→LINE登録の導線に接続
- 2:20-2:45 定着：配信を1本、tracked link付きで実際に送る
- 2:45-3:00 宿題確認

講師メモ

- ・Harnessのセットアップは重いので、土台はあいさんが事前に仕込んでおく（当日は設定と運用に集中）
- ・配信は必ず実到達数を見せてから送る（Lavique運用での反省を共有）
- ・ここが講座ビジネス回帰の土台。「募集をいつでも打てる状態」と言語化

宿題

- ・診断をストーリーズで告知して反応を見る
- ・友だち追加数とクリック数をメモ

⑦ 12月 後半 API連携・アプリ開発（提供できるツール）

ゴール CCが他のAIを従えて動く／生徒さん・クライアントに「提供できる」ツールが1本できる

タイムライン

0:00-0:15	チェックイン（診断導線の数字レビュー）
0:15-1:00	OpenAI APIキー取得 → CCから画像生成（gpt-image系）を叩けるようにする
1:00-2:00	クライアント or 自分の生徒向けミニツール制作（例：投稿画像ジェネレーター、業務チェックアプリ等。本人のやりたいものを事前ヒアリング）
2:00-2:20	ここまでの成果物8個を「商品・サービス」目線で棚卸し（何がいくらで売れる形か）
2:20-2:45	定着：ツールの文言・デザインを本人が自力で調整
2:45-3:00	宿題確認・卒業制作の予告

講師メモ

- ・API課金の概算（月数百～数千円）を必ず事前に案内（規約第11条2項）
- ・あいさんはCodex/OpenAI連携済みなので自分の環境でデモ→本人環境で再現の順
- ・ここでの「棚卸し」が⑧の下書きになる

宿題

- ・作ったツールを1人（生徒 or クライアント）に使ってもらい感想回収
- ・⑧に向けて：自分の講座をやるなら誰に・何を、をメモ

⑧ 1月（最終回） 卒業制作：売上を立てる流れを完成させる

ゴール 自分のAI講座の企画書 or 企業向け提案書が完成し、「いつでも売り出せる」状態で卒業

タイムライン

0:00-0:15	チェックイン（ツールの感想レビュー）
0:15-1:00	4ヶ月の棚卸し：完成品8個・削減できた時間・クライアントの反応を数字で一覧化
1:00-2:00	卒業制作：AI講座の企画書（対象・価格・カリキュラム・募集導線）or 企業向け提案書をCCで作成
2:00-2:20	今後90日の運用計画（週次ルーティン・数字の見方・次に作るもの）
2:20-2:45	Skill棚の総点検：8個の型がひとりで回るか最終確認
2:45-3:00	卒業。今後の関わり方の案内（継続サポート・追加メニューは別契約＝規約第6条）

講師メモ

- ・「講座を開催するかは本人の自由、流れは完成」＝工程表の約束をここで回収
- ・継続を売り込む場ではなく、選択肢として置く（欲しいと言われたら別途見積もり）
- ・ビフォーアフターの数字は、あいさん側の実績（次の受講生募集の材料）としても記録

卒業チェックリスト

- ・完成品8個がすべて本人の手元で動いている
- ・本人がCCにひとりで指示→修正→完成まで回せる
- ・企画書 or 提案書が「出せる」状態